

ご近所のお医者さん

□
722
□

阪神野田駅前フアミ
リークリニック院長

衣畑成紀さん

— 大阪市
福島区

総合診療医をご存じですか？

最近、日曜ドラマ「19番目のカルテ」の放送により、総合診療医への関心が高まっていますが、「総合診療医って何をする人？」「内科医とはどう違うの？」という声を耳にします。総合診療医として、この機会に総合診療の魅力と役割について、お伝えしたいと思います。

「病気」でなく「人」を診る

総合診療医の最大の特徴は、「病気ではなく人を診る」という理念にあります。従来の専門科では、心臓なら循環器科、胃なら消化器科というように、

や症状が多岐にわたるケースに対応します。

例えば「最近疲れやすくて、なんとなく調子が悪い」という症状の場合、総合診療医は、貧血や甲状腺などの病

気の可能性や、仕事のストレスや家庭環境の変化などの影響を考えます。そして、身体診察や検査に加え、患者さんの心理的要因、生活背景、社会的な環境も考慮して総合的に判断し、最適な治療方針を提案します。

臓器別に診療科が分かれていました。しかし、実際の患者さんは一人の人間として、さまざまな症状や背景を持って来院されます。総合診療医は、この「人全体」を捉えて診療を行います。

特定の臓器や疾患に限定せず、体全体

また、高齢化が進む中で、複数の疾患を抱える患者さんが増えています。そうした方には、それぞれの疾患を個別に治療するのではなく、薬の調整も含め、包括的に対応し、生活の質の向上にも貢献します。

さらに、クリニックでは「かかりつけ医」としての役割を担っており、風邪などの急性疾患から、糖尿病や高血

圧といった慢性疾患の管理、時には看取りと

いった幅広い対応を行っています。必要に応じて適切な専門医を紹介することで、地域医療の「交通整理」もしているのです。中規模以上の急性期病院の総合診療医では、他院で診断困難な

方の診断も行います。

体の不調を感じた時、どこに相談すべきか迷った時、薬を減らしたい時、

病気の予防や健康維持など、病気の不安や心配事があれば、ぜひ総合診療医

に相談してみてください。

